

荒川区の教育特集号

荒川区

☎(3802)3111 FAX(3802)6262 <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/> <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/keitai/>

「荒川区学校教育ビジョン」を改訂しました



荒川区教育委員会は、「荒川区学校教育ビジョン」を策定し、子どもたちがたくましく生きる力を培い、地域社会の構成員として信頼と尊敬を得られる人間性豊かな区民として成長することを目指して、教育を推進しています。

策定してから10年が経ち、子どもを取り巻く状況は、大きく変化しています。グローバル化の波や、変化する世界の情勢等、予測できない事柄に対応するためには、社会の変化に主体的に向き合い、一人ひとりが自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していくことが重要です。

今回、改訂した「荒川区学校教育ビジョン（平成29年度～38年度）」の下、引き続き学校・家庭・地域と連携しながら未来を拓きたくましく生きる子どもを育成していきます。

問合せ 指導室 ☎内線3388



中長期目標

未来を拓きたくましく生きる子どもを育成する

中長期目標を達成していくための方向性

- 1 子ども一人ひとりのよさを伸ばし、学ぶ力を高める
- 2 多様性を尊重し、豊かな感性と創造力を育む
- 3 基本的な生活習慣を形成し、健全な心身を培う

新たな「荒川区学校教育ビジョン」の実現に向けた施策の柱

夢につながる主体的な学びを推進する

こころとからだの健全な育成を図る

体験的な学習活動をとおして、よりよい未来社会を築く

教師が育つ学校をつくる

学校・家庭・地域が強いスクラムを組んで子どもたちを育てる

良好な教育環境と体制を整える

▶新たな「荒川区学校教育ビジョン」に寄せて

「教育は国家百年の大計」と言います。明治黎明期の日本の近代国家への道を支えたのも、子どもたちに対する優れた教育システムでした。私は、子どもたちは「未来社会の守護者である」という考えから、子どもたちが、未来を拓きたくましく生きることができるよう、教育委員会と十分に連携を図りながら、全小・中学校へのタブレットPCの導入、学校図書館の充実、全中学校での防災部の創設等、さまざまな教育施策に取り組みで参りました。この度、平成28年3月に策定した「荒川区教育に関する大綱」を受け、教育委員会は「荒川区学校教育ビジョン」を、改訂しました。

これは、平成19年にビジョンを策定して以降、社会が著しく変化していることを踏まえて、この国の未来を担う子どもたちが、かけがえのない一度きりの人生を荒川区で幸せに生きられるよう、「全力で育てます！未来社会の守護者たち」を合言葉に、荒川区の教育がなすべきことを示したものです。このビジョンの下、荒川区で教育を受けた多くの子どもたちが、その能力を大きく開花させ、心豊かな人生を送ることができるよう確信しています。

これからも、新たなビジョンに基づき、引き続き、教育委員会と連携しながら、質の高い教育環境の整備に全力で取り組んで参ります。

「教育は国家百年の大計」と言います。明治黎明期の日本の近代国家への道を支えたのも、子どもたちに対する優れた教育システムでした。



荒川区長・特別区長会会長
西川 太一郎

さまざまなことにチャレンジ! あらかわの教育

区では、子どもたちが、さまざまなことに笑顔でチャレンジできる機会を数多く設けています。今号では、平成28年度の子どものチャレンジを紹介します。

表彰式 第11回 あらかわ小論文コンテスト 第6回 荒川区図書館を使った調べる学習コンクール 第9回 あらかわお弁当レシピコンテスト

小・中学生37名が区長賞・教育委員会賞を受賞

平成29年1月27日、「あらかわ小論文コンテスト」「荒川区図書館を使った調べる学習コンクール」「あらかわお弁当レシピコンテスト」の、優秀作品を表彰しました。平成28年度は、区内小・中学生の37名が区長賞・教育委員会賞

に選ばれ、受賞者一人ひとりに賞状と副賞を授与しました。受賞した皆さんや臨席した保護者の方の喜びの音が会場内に響き渡り、表彰式は、和やかな雰囲気で行われました。



HELLO 小・中学校 ワールドスクール

自然の中で楽しく学ぶ、本格的な英語教育

「小学校ワールドスクール」は、区立小学校の希望する6年生を対象に、清里高原(山梨県北杜市)で平成28年8月18日~22日に行いました。子どもたちは、外国人指導員との英語を使った共同生活の中で、外国の文化に触れながら、楽しく学びました。参加した子どもたちは、「外国人英語指導員とたくさん話し、英語が通じたので自信がついた」、「自分から進んで英語で会話できるようになった」と、感想を述べ、英語を使って相手に気持ちを伝えることの楽しさや、友だちと協力し合うことのすばらしさを学んだ5日間でした。

区立中学校では、希望する生徒を対象に、平成28年度から秋田県秋田市で「中学校ワールドスクール」が始まりました。公立大学法人国際教養大学の留学生や大学院生から英語を学ぶとともに、秋田市の協力で、枝豆収穫の農業体験や市内観光等も行いました。参加した子どもたちは、「実際に海外の人と英語で理解し合えた」、「相手もAnswer Plusで答えてくれると、自分も心を開きやすい」と感想を話し、貴重な体験となりました。



楽しく学んで
コミュニケーション
能力向上



「安全安心マップ」電子版

デジタル化で、よりよいマップづくり

これまでの安全安心マップづくりは、模造紙等で作成していたため、「使用は1年間の限定版になる」、「他の小学校の情報を知ることができない」、「情報が更新しづらい」などの制約がありました。そこで、一人1台のタブレットPCを使用できる学習環境を活用し、平成28年6月に全小学校で一斉に「安全安心マップ」電子版を作成しました。

子どもたちが警察署の方と学校周辺を歩き、タブレットPCを使用して、自分たちの地域の中で危険と思われる場所の写真を撮り、児童が考えた注意点と写真を撮った場所の位置を、電子地図上で表示できるようにまとめました。その中で、「暗くて危ない」、「飛び出すと危険」等の意見を、区で点検する活動も行



っています。また、PTA等と連携を図り、今後は、地域パトロール時に「安全安心マップ」電子版の危険箇所を重点ルートに加える等の工夫をしていきます。



危険と思われる
場所だ。
注意することは...

東京藝術大学と幼稚園との連携 町っ子アート

芸術に触れ、 豊かな感性と創造性を育む

区立幼稚園では、東京藝術大学と連携して芸術体験活動を実施しています。芸術の専門分野において第一線で活躍している専門家の方と一緒に、子どもたちは創造力を働かせながら、何かを創ることの面白さを発見するとともに、普段は扱わないような素材や道具を思う存分に使うことにより、創造力や表現力を高めています。また、親子で一緒に取り組むことで、親子の対話、思い出づくり、新たな発見など、さまざまな成果が表れています。



上手に描けたかな



夏の思い出を
絵巻物にしよう



テント・テント
(蚊帳を材料に
しています)

中学校防災部釜石市等被災地訪問報告会

被災地訪問で学び、防災について考える

防 災 宣 言

- イメージ力を高めること
- 地域の防災環境を知ること
- 情報発信をしていくこと
- 助けられる人から助ける人になること

平成28年9月1日、サンパール荒川で「中学校防災部釜石市等被災地訪問報告会・防災講演会」を行いました。全区立中学校から集まった20名の生徒が、夏休みを利用して、区の友好都市である岩手県釜石市に、1泊2日で訪問するのも今年で2回目です。被災地訪問は、平成23年3月11日に何が起こり、被災地の人たちがどのような行動をとったのかをその場で感じ取り、これからの防災について考えることをねらいとしています。

当日は、各校防災部の活動内容や、被災地訪問で感じたこと、考えたこと、学んだことをプレゼンテーション形式で報告し、防災宣言を高らかに唱えました。

講演会講師には気象庁元長官の山本孝二氏をお招きし、「命を守る防災活動」についてお話をいただきました。

参加した生徒は、「防災部の活動をとおり、地域や周囲の人を助けたいという思いが強くなりました。これからも、防災についてもっと学んでいきたい」と、意気込みを話しました。



西川区長に防災宣言を行う生徒たち



楽しく、安心して通える学校を目指した 区の実践

学校図書館

区内の全区立小・中学校には、43万冊を超える蔵書があり、文部科学省で定めている図書標準の140%を越えています。

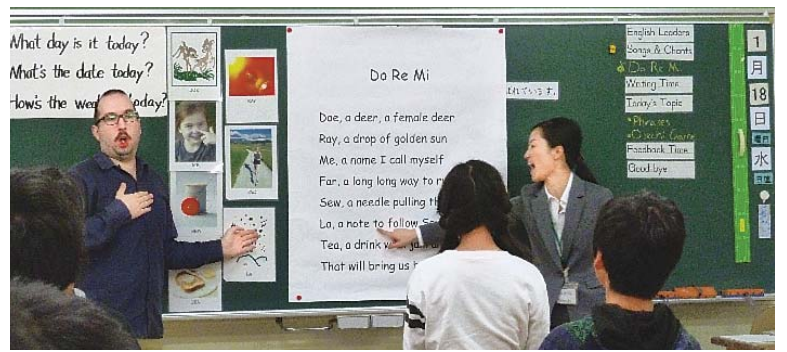
平成25年度に策定した「荒川区学校図書館活用指針」を基に、区では、学校図書館を「読書センター」「学習センター」「情報センター」として整備し、すべての教科等の学習活動で活用しています。「図書館を使った調べる学習コンクール」の取組をととして、子どもたちの調べる力も高まっています。

また、各区立図書館と連携し、図書館司書が小・中学校を訪問することで、子どもたちの本への関心をさらに高めるとともに、地域の図書館に行くきっかけを作っています。

今後も、読書をととして、子どもたちの豊かな感性を育てていきます。



小学校の英語教育



区では、「荒川区小学校英語科指導指針」に基づき、小学1年生から英語教育を推進しています。子どもたちは、英語の時間には、外国人英語指導員の先生や友だちと積極的に英語でやりとりをしています。また、小学6年生になると、タブレットPC等を用い、将来の夢について英語でプレゼンテーションをします。

平成32年度からは、全国で小学3年生から外国語活動が始まり、小学5年生からは、英語が正式な教科となります。

区では、先進的に英語教育に取り組んできたメリットを生かし、引き続き、子どもたちの英語による国際コミュニケーション力を育成していきます。



安全対策

区では、いづどこで起こるかわからない犯罪や事故から、子どもたちを守るためにさまざまな安全対策を推進し、子どもたちが地域で安心して暮らすことができるよう取り組んでいます。



児童通学案内指導員

小学生の交通安全の確保・交通安全意識の向上のため、児童通学案内指導員が、旗による横断の誘導及び安全指導を行っています。

- 配置箇所 区立小学校24校の通学路の交差点など70か所
- 配置時間 登校時…午前7時45分～8時45分
下校時…各校の下校時間に合わせて1時間～2時間



学校安全パトロール

小学校の低学年児童の下校時に付き添い、安全を確保する学校安全パトロールをすべての小学校で実施しています。

- 配置時間 各小学校の下校時間に合わせて1時間～1時間30分



スクール安全ステーション

児童安全推進員を配置し、来校者の確認や案内を行うとともに、不審者の侵入を防いでいます。また、学校安全パトロール員や学校安全ボランティアの活動拠点でもあります。



学校情報配信システム

携帯メール等に学校の行事情報を配信する「学校情報配信システム」では、不審者情報等、子どもの安全に関わる情報も配信しています。



防犯カメラ

小学校の通学路に防犯カメラの整備を進めており、120台の防犯カメラを設置しています（3月31日現在）。

問合せ 教育総務課 ☎内線3311

学校施設の整備改修 ～学校トイレの洋式化～

子どもたちが安全に快適な学校生活を送れるよう、また、災害時の避難所としての機能を想定して学校トイレの洋式化を進めています。工事は平成28年度から開始し、平成30年度までに全ての小・中学校でトイレの洋式化が完了する予定です。

施工前：和式



施工後：洋式



問合せ 教育施設課 ☎内線3321